

行政事業レビューシート(文部科学省)

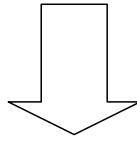
予算事業名	社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム	事業開始年度	平成19年度	作成責任者		
担当部局庁	高等教育局	担当課室	専門教育課	専門教育課長 澤川 和宏		
会計区分	一般会計	上位政策	「個性が輝く高等教育の振興」 「大学などにおける教育研究の質の向上」			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		関係する計画、通知等	経済財政改革の基本方針2007(平成19年6月19日 閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	社会人の「学び直し」のニーズに対応するため、大学、短期大学、高等専門学校における教育研究資源を活用した、社会人の再就職やキャリアアップ等に資する優れた実践的教育プログラムの開発・普及を図ることで、全ての人が安心して働き方を選択し、やり直しが可能となる社会の実現を目指す。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	大学、短期大学、高等専門学校において、就職困難者等に対し、以下の内容の職業能力の形成に資する実践型教育プログラムの開発・実施を行う。 ①社会人(現に職業を有する者に加え、子育て等により就業を中断した女性、ニート、フリーター等も含む。)を対象としていること ②「関係団体(経済団体、職能団体や地方公共団体など)との連携」等により、社会のニーズを十分に踏まえ、再就職やキャリアアップ等に役立つものであること ③学び直しのために体系的に構築され、かつ、短期(1年未満)で修了できるもの(単なる公開講座を除く) など					
実施状況	・看護師、助産師、薬剤師、保育士等の資格関連のほか、介護、一般事務、農業、工業等の幅広い分野での地域社会との連携による多様なプログラムが実施されている。 ・失業者、ニートや非正規雇用者など社会人等への多様な学び直しの機会を提供している。 ○実施状況 平成19年度に126件、平成20年度に34件それぞれ選定。平成21年度は155件と委託契約を締結。期間は1～3年間。 (平成21年度実施状況 受講者数:13,851人、修了者数:10,090人(平成22年4月調査時点))					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	1,760	1,960	1,770	370	-
	執行額	1,752	1,865	1,766		
	執行率	99.5%	95.2%	99.8%		
	総事業費(執行ベース)	1,793	1,950	1,890		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	事業年度毎に各大学から提出される委託業務完了報告書において、各大学における支出先・使途を把握し、委託費の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。また、必要に応じて各大学に対する現地調査を実施したり、委託業務完了報告書のみでは確認が不十分な場合に契約関係書類を個別に提出させる等により、各大学における支出先・使途の把握を万全のものとしている。				
	見直しの余地	各大学の取組内容・成果について、文部科学省や大学のホームページへの掲載、各種フォーラムの開催等を通じて、全国の大学へ普及・展開を図っているところである。今後は、本事業の成果報告書の取りまとめや、検証を通じて、我が国全体としての大学改革に資するよう更なる成果普及等に努めて参りたい。				
予算・監視・所見率化	1. 事業評価の観点：この事業は、社会人の「学び直し」のニーズに対応するため、大学等における教育研究資源を活用した、社会人の再就職やキャリアアップ等に資する優れた実践的教育プログラムの開発・普及を図り、全ての人が安心して働き方を選択し、やり直しが可能となる社会の実現を目指すことを目的としており、公開プロセスの対象となった事業である。 2. 所見：本事業は、事業開始からすでに3年が経過しており、様々な成果が蓄積されていると考えられること、公開プロセスにおいて、「受益者負担とすべきものと国が支援するものとの区分の明確化が必要、成果の検証・評価をしっかりと行うべき、大学の本来業務であり、大学の経常経費での対応が可能よう大学の教育活動の強化や基盤的経費のあり方を検討すべき」などの指摘がなされ、廃止という結論となったことから、事業を廃止すべきである。					
補記						

文部科学省
1,766百万円

庁費:1.4百万円
謝金等:0.6百万円

} を含む

{ 対象大学・短期大学・高等専門学校から提案のあった事業内容を審査の上、
委託する取組を選定し、委託契約を締結する。 }



【公募・委託】

総額1,764百万円
A大学・短期大学・高等専門学校(全155機関)

{ 国との委託契約に基づき、大学・短期大学・高等専門学校において、就職困難者等に対し、
職業能力の形成に資する実践型教育プログラムの開発・実施。 }

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.広島修道大学			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	就職支援を行うキャリアアドバイザー、アルバイト	8			
諸謝金	講師謝金	3			
雑役務費	広告宣伝費、アンケート集計・分析費	3			
借料	パソコンリース代、会場室、機器借料	3			
その他	旅費、消耗品費、会議費、通信運搬費、印刷製本費	4			
計		21	計		
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

A:社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム

	支出先	支出額(百万円)
1	広島修道大学	21
2	岩手大学	19
3	神戸学院大学	18
4	お茶の水女子大学	16
4	名古屋工業大学	16
6	東京大学	15
6	静岡大学	15
6	愛媛大学	15
6	山梨県立大学	15
6	サレジオ工業高等専門学校	15
・ ・ ・	その他	1,599
	合 計	1,764